

経 営 の 状 況

(22年9月末)



愛媛県信用漁業協同組合連合会

1. 事業の概況

県下の漁業情勢は、今年度の異常気象等による環境の変化や急激な円高及びデフレ状況の中、養殖業者・漁船漁業者等において経営安定を図る努力を行っておりますが、漁協・漁家の経営はいまだ厳しい状況となっております。

このような状況の中、JFマリンバンクでは、平成22年度からのJFグループ全体の新運動方針「JFグループ 組織・経営・事業戦略」における信用事業安定運営責任体制(あんしん体制)を確実なものにするため、経営健全性の一層の強化に取り組むこととされておりますが、県下JFマリンバンクとしては、愛媛県らしい金融サービスを提供できるよう「平成25年度末信用事業協同体(統合信漁連)実現」に向けて、取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援・ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

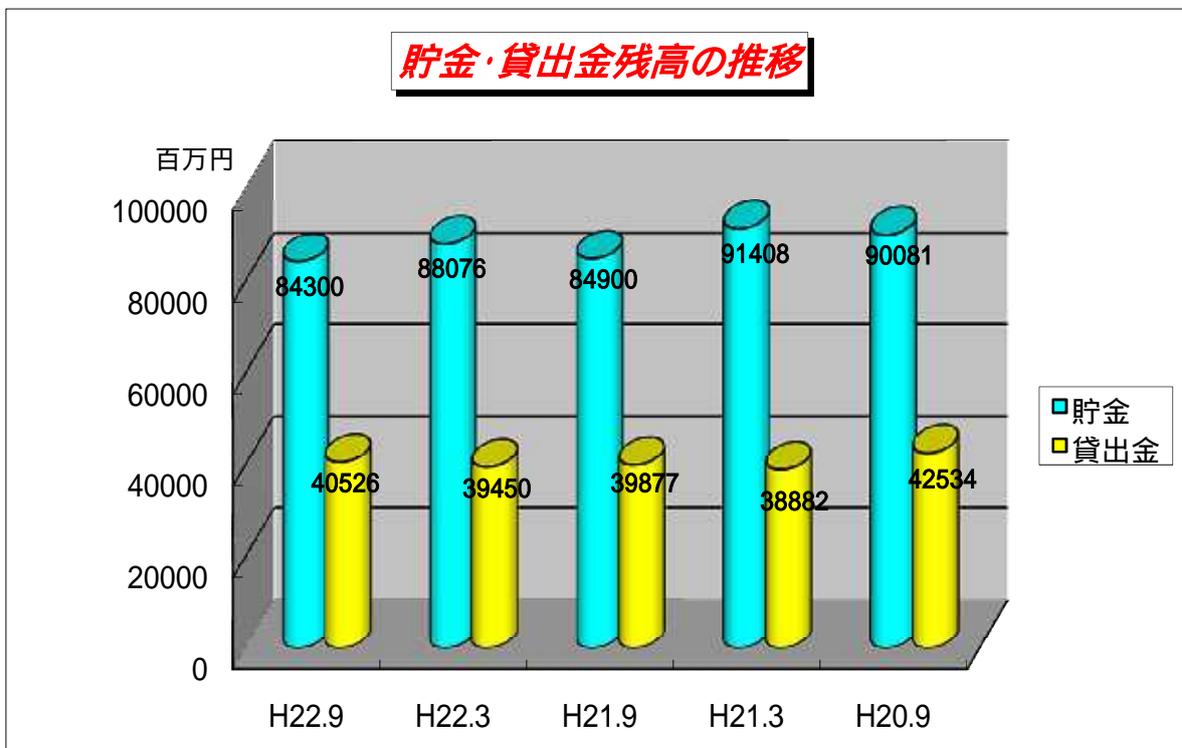
貯金

貯金は、9月末残高843億円で、前年同期比6億円減少しておりますが、本年度も夏期に特別キャンペーン貯金の実施による積極的な推進を行った結果、定期貯金で約10億円、定期積金約1億円の実績を収めました。

貸出金

貸出金は、9月末残高405億円で、前年同期比6億円増加いたしました。

また、上半期は経費圧縮や新規設備投資自粛の傾向が残ったものの、養殖関連組合員の育成関連資金需要の対応により増加しました。



財務収支

漁業を取り巻く厳しい環境により貯金量の減少が続く中、事業管理費の削減に努めるとともに効果的な余裕金の運用及び不良債権の回収を図り、計画通りの剰余金を計上することができるよう事業展開してまいります。

なお、上半期における経常利益は97百万円、当期剰余金は70百万円となりました。

また、金融機関の安全性・健全性を示す自己資本比率は、「新BIS規制」に従った算定の結果、24.09%となり、国内基準(最低所要自己資本比率)の4%及び系統内ルールに示された漁協信用事業実施要件である8%を大きく上回り、引き続き高い水準を確保しております。

2. 主要な取組み

当連合会は、協同組合運動の理念の下、県下漁協信用事業組織(22自立漁協及び18代理店)の中核として、会員と組合員の強い信頼と負託に応え、その社会的、経済的地位の向上と漁協信用事業の健全な育成のため最大の奉仕を行うとともに、会員と組合員からの資金需要に適切に応えることにより、水産業の振興及び漁村地域社会の発展に貢献できるよう県下漁協と一体となり事業展開いたします。

この経営理念の実現のために、以下の事項を重点的に取り組むことといたします。

重点取組事項

信用事業安定運営責任体制(あんしん体制)への展開

事業量確保に向けた推進活動の展開

会員及び漁業者等の資金需要に対する積極的融資対応

内国為替の適切かつ確実な取扱いと漁協指導、国庫金や公共料金の利用拡充による家計のメイン化推進

不良債権の管理と延滞債権回収

事業運営の健全化に傾注するため、コンプライアンス意識の徹底、事務管理体制の確立の2項目を柱とした不祥事等未然防止への取り組み

3. その他

特筆すべき事項はありません。

4. 金融再生法開示債権(単体)

(単位:百万円)

	平成22年9月末	平成22年3月末	増 減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	1,790	830	960
危険債権	10,701	11,282	581
要管理債権	175	175	0
不良債権合計	12,666	12,287	379
正常債権	27,944	27,229	715

平成22年9月末の債権額は次の方法により算定しています。

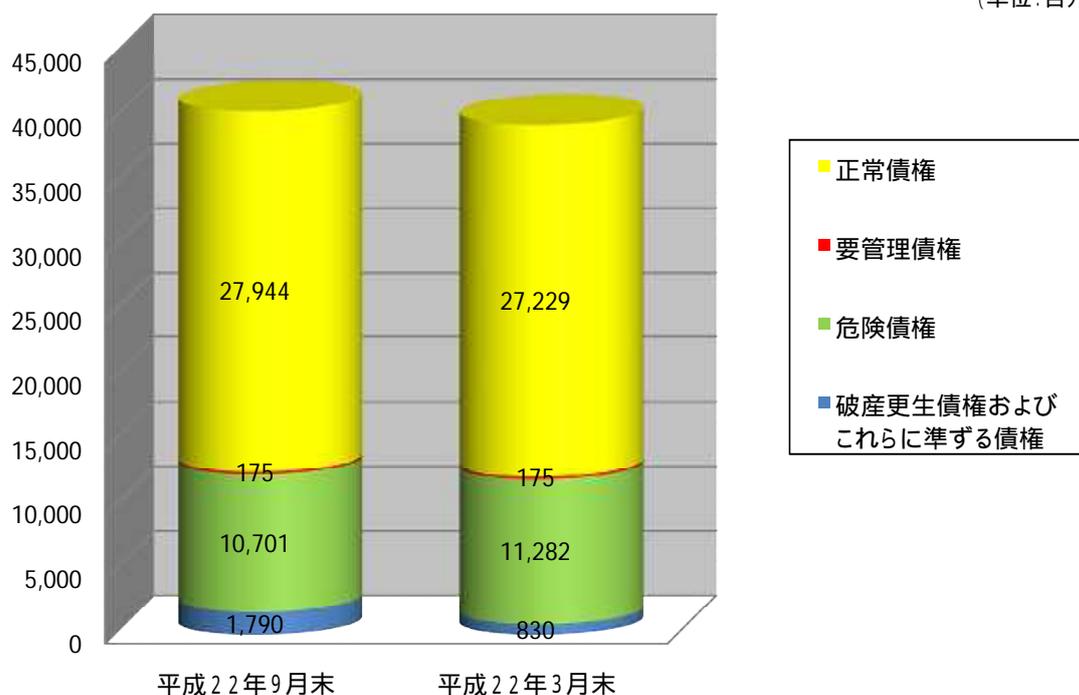
各債権額は平成22年3月末時点を基準として、対象債権残高を修正しています。

平成22年3月末以降に、債務者区分の変更が必要と認められる債務者については、9月末時点の対象債権残高を修正しています。

(注1)「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の理由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
(注2)「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
(注3)「要管理債権」とは、基本的には、「3ヵ月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
(注4)「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外のものに区分される債権です。

金融再生法開示債権の推移

(単位:百万円)



5. 単体自己資本比率

平成22年9月末	平成22年3月末
24.09%	24.84%

6. 主要勘定残高の状況

(単位:百万円)

	平成22年9月末	平成22年3月末
貯金	84,300	88,076
貸出金	40,526	39,450
預け金	44,711	49,964
有価証券		